写真
貼付
必要

※この給与欄は記入しないこと
この欄は市町村教育委員会にて記入

採用承認 R				人事
学校名			職名	
岸和田市立　　学校				
所属コード				
給与承認 R				
級	号給	金額	次期昇給短縮期間	給与
次期昇給起算日			次期昇給年月日	
年　月　日			年　月　日	

履　歴　書

現住所	□□□－□□□□	氏名	ふりがな　　男・女
自宅	(　　)—(　　)—(　　)		生（　　歳）
携帯	(　　)—(　　)—(　　)	旧氏名	改氏名年月日　　年　月　日

学歴（中学校卒業後より記入）	期間	入・卒修・退	実在学年数	学校名（学部、課程・学科名も記入）	標準修学年数
	年　月　日	入		高等学校	3
	年　月　日	卒			
	年　月　日	入			4
	年　月　日	卒			
	年　月　日				
	年　月　日				
	年　月　日				
	年　月　日				
	年　月　日				
	年　月　日				
	年　月　日				
	年　月　日				
	年　月　日				
	年　月　日				

（必ず、いずれかにチェックしてください。）

□① 私は、大学の「夜間学部」「通信教育」「科目履修生」の卒業（又は修了）等の履歴はありません。

□② 私は、大学の「夜間学部」「通信教育」「科目履修生」の卒業（又は修了）等の履歴があります。

⇒②にチェックした場合、下記【注意事項】のとおり記入すること。

	授与年月日	免許状の種類	教科	授与権者
	年　月　日			
	年　月　日			
	年　月　日			
	年　月　日			
	年　月　日			
	年　月　日			

【注意事項】

・大学等の「夜間学部」「通信教育」「科目履修生」は、必ず、学部・学科・課程等の後に
「（夜間）」「（通信）」「（科目履修生）」と記入すること。（各種専修学校等も同じ。）

・上記の期間中の職歴は、2枚目に記入。職歴がない場合は、在家庭と記入すること。

		年　月　日	賞罰歴の内容等
賞罰	□有・□無		

※罰金以上の刑に処せられたこと又は懲戒処分若しくは分限処分を受けたことの有無について、「有・無」のどちらかにチェックし、「有」の場合は、判決確定年月日等又は処分年月日とその内容（例：平成25年7月　懲戒免職　生徒に対するわいせつ行為）を記入してください。

本書類に記入した事項は事実に相違なく、採用するに相応しくない非違行為が判明した場合、あるいは、虚偽の記入があった場合には、採用が取り消され得ることについて了承します。
また、私は地方公務員法第16条及び学校教育法第9条並びに平成11年改正前の民法の規定による準禁治産の宣告を受けている者（心神衰弱を原因とするもの以外）に該当していません。

年　　月　　日　　氏　名

○地方公務員法（昭和25年法律第261号）（抄）
（欠格条項）
第16条　次の各号のいずれかに該当する者は、条例で定める場合を除くほか、職員となり、又は競争試験若しくは選考を受けることができない。
一　禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者
二　当該地方公共団体において懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者
三　人事委員会又は公平委員会の委員の職にあつて、第60条から第63条までに規定する罪を犯し、刑に処せられた者
四　日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

○学校教育法（昭和22年法律第26号）（抄）
第9条　次の各号のいずれかに該当する者は、校長又は教員となることができない。
一　禁錮以上の刑に処せられた者
二　教育職員免許法第10条第1項第二号又は第三号に該当することにより免許状がその効力を失い、当該失効の日から3年を経過しない者
三　教育職員免許法第11条第1項から第3項までの規定により免許状取上げの処分を受け、3年を経過しない者
四　日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

※学校教育法第9条に定める教員等の欠格事由の一つである「禁錮以上の刑に処せられた者」には、
・禁錮以上の刑に付された執行猶予の期間
・禁錮以上の刑の執行を終わり又はその執行の免除を得たときから、罰金以上の刑に処せられることなく10年を経過するまでの間の期間
にある者も含まれるため、記入に当たって留意してください。

○民法の一部を改正する法律 附則（平成11年法律第149号）
第3条 旧法の規定による禁治産の宣告は新法の規定による後見開始の審判と、当該禁治産の宣告を受けた禁治産者並びにその後見人及び後見監督人は当該後見開始の審判を受けた成年被後見人並びにその成年後見人及び成年後見監督人とみなす。
２ 旧法の規定による心神耗弱を原因とする準禁治産の宣告は新法の規定による保佐開始の審判と、当該準禁治産の宣告を受けた準禁治産者及びその保佐人は当該保佐開始の審判を受けた被保佐人及びその保佐人とみなす。
３ 前項に規定する準禁治産者以外の準禁治産者及びその保佐人に関する民法の規定の適用については、第846条、第974条及び第1009条の改正規定を除き、なお従前の例による。

職員番号		名前	

【職務経歴事項等記入上の注意事項】

○**一日も空白期間が出ないように**記入すること。
○職歴がない場合は、「在家庭」と記入すること。
○**大学の「夜間学部・通信教育・科目履修生」在籍中の職歴は在家庭であっても必ず記載**すること。
○教員免許の要否欄は、記載した職歴に就く条件について「要・否」のどちらかを○で囲むこと。
○社会保険加入の有無欄は、「有・無」のどちらかを○で囲むこと。

※記入漏れや誤りがあった場合、給料決定に影響が出るため、正確に記入すること。

自：年 月 日 至：年 月 日	勤務先等名称 職種・職名等	勤務先等名称 雇用形態	教員免許の要否	社会保険加入の有無	給料 級	給料 号給	発令庁
．　． ．　．			要・否	社：有・無 雇：有・無			
．　． ．　．			要・否	社：有・無 雇：有・無			
．　． ．　．			要・否	社：有・無 雇：有・無			
．　． ．　．			要・否	社：有・無 雇：有・無			
．　． ．　．			要・否	社：有・無 雇：有・無			
．　． ．　．			要・否	社：有・無 雇：有・無			
．　． ．　．			要・否	社：有・無 雇：有・無			
．　． ．　．			要・否	社：有・無 雇：有・無			
．　． ．　．			要・否	社：有・無 雇：有・無			
．　． ．　．			要・否	社：有・無 雇：有・無			
．　． ．　．			要・否	社：有・無 雇：有・無			
．　． ．　．			要・否	社：有・無 雇：有・無			
．　． ．　．			要・否	社：有・無 雇：有・無			
．　． ．　．			要・否	社：有・無 雇：有・無			
．　． ．　．			要・否	社：有・無 雇：有・無			
．　． ．　．			要・否	社：有・無 雇：有・無			
．　． ．　．			要・否	社：有・無 雇：有・無			
．　． ．　．			要・否	社：有・無 雇：有・無			
．　． ．　．			要・否	社：有・無 雇：有・無			

	職員番号		名前				
自：年 月 日 至：年 月 日	勤務先等名称 職種・職名等	雇用形態	教員免許の要否	社会保険加入の有無	給料 級	号給	発令庁
．　． ．　．			要・否	社：有・無 雇：有・無			
．　． ．　．			要・否	社：有・無 雇：有・無			
．　． ．　．			要・否	社：有・無 雇：有・無			
．　． ．　．			要・否	社：有・無 雇：有・無			
．　． ．　．			要・否	社：有・無 雇：有・無			
．　． ．　．			要・否	社：有・無 雇：有・無			
．　． ．　．			要・否	社：有・無 雇：有・無			
．　． ．　．			要・否	社：有・無 雇：有・無			
．　． ．　．			要・否	社：有・無 雇：有・無			
．　． ．　．			要・否	社：有・無 雇：有・無			
．　． ．　．			要・否	社：有・無 雇：有・無			
．　． ．　．			要・否	社：有・無 雇：有・無			
．　． ．　．			要・否	社：有・無 雇：有・無			
．　． ．　．			要・否	社：有・無 雇：有・無			
．　． ．　．			要・否	社：有・無 雇：有・無			
．　． ．　．			要・否	社：有・無 雇：有・無			
．　． ．　．			要・否	社：有・無 雇：有・無			
．　． ．　．			要・否	社：有・無 雇：有・無			
．　． ．　．			要・否	社：有・無 雇：有・無			

氏名漢字確認票

所属名：

職　名：

任用開始日：

○記入にあたって

・氏名に、常用漢字または人名用漢字以外の文字が含まれている場合に作成してください。

・手書きする場合は判別できるように楷書体で丁寧に記載してください。

①氏名（本名）

氏名字体	備　考

②氏名（旧姓・改名前氏名）

氏名字体	備　考

③氏名（その他）

氏名字体	備　考

（記入例）

氏名字体	備　考
吉	「吉」の上が「土」
田	常用漢字
	「静」の異体字
香	常用漢字

写真貼付必要

※この給与欄は記入しないこと
この欄は市町村教育委員会にて記入

採用承認 R			人事
学校名		職名	

・勤務する学校、期間と職名については、市教育委員会で記載。
（本人の記入は不要）

給与承認 R				
級	号給	金額	次期昇給短縮期間	給与
次期昇給起算日		次期昇給年月日		
年 月 日		年 月 日		

履歴書

現住所	□□□－□□□□	氏名	ふりがな　男・女
自宅	（　　）—（　　）—（　　）		生（　　歳）
携帯	（　　）—（　　）—（　　）	旧氏名	改氏名年月日　年 月 日

学歴（中学校卒業後より記入）	期間	入・卒修・退	実在学年数	学校名（学部、課程・学科名も記入）	標準修学年数
	年 月 日	入		高等学校	3
	年 月 日	卒			
	年 月 日	入			4
	年 月 日	卒			
	年 月 日				
	年 月 日				

・「学歴欄」は、卒業、修了、途中退学の別がわかるように記載。
大学については、学部・学科まで記載。
・夜間、通信制、科目等履修の学歴がある場合は、その間の職歴も記載。
（職歴がない場合は、在家庭と記載）また、下部の②にチェックする。
・大学院での習得学位（修士、博士等）がわかるように記載。

（必ず、いずれかにチェックしてください。）
□① 私は、大学の「夜間学部」「通信教育」「科目履修生」の卒業（又は修了）等の履歴はありません。
□② 私は、大学の「夜間学部」「通信教育」「科目履修生」の卒業（又は修了）等の履歴があります。

⇒②にチェックした場合、下記【注意事項】のとおり記入すること。

授与年月日	免許状の種類	教科	授与権者
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			

・免許状の授与年月日を記載。
（３月３１日とは限らない）

【注意事項】
・大学等の「夜間学部」「通信教育」「科目履修生」は、必ず、学部・学科・課程等の後に
「（夜間）」「（通信）」「（科目履修生）」と記入すること。（各種専修学校等も同じ。）
・上記の期間中の職歴は、2枚目に記入。職歴がない場合は、在家庭と記入すること。

職員番号		名前	

【職務経歴事項等記入上の注意事項】

○**一日も空白期間が出ないように**記入すること。
○職歴がない場合は、「在家庭」と記入すること。
○**大学の「夜間学部・通信教育・科目履修生」在籍中の職歴は在家庭であっても必ず記載**すること。
○教員免許の要否欄は、記載した職歴に就く条件について「要・否」のどちらかを○で囲むこと。
○社会保険加入の有無欄は、「有・無」のどちらかを○で囲むこと。

※記入漏れや誤りがあった場合、給料決定に影響が出るため、正確に記入すること。

自：年 月 日 至：年 月 日	勤務先等名称 職種・職名等	雇用形態	教員免許の要否	社会保険加入の有無	給料 級	号給	発令庁
学校関係の職歴（職名、免許状の要否がわかるように記載）	○○市立○○小学校		要	社：有	2	20	大阪府教委
	教諭	正規職員		雇：無			
	○○市立○○中学校		要	社：有	1	20	大阪府教委
	講師	臨時的任用		雇：無			
	○○市立○○小学校		要	社：無			大阪府教委
	非常勤講師	会計年度任用		雇：無			
	学校法人○○　○○中学校		要	社：有			
	教諭	正規職員		雇：有			
．　．	学校法人○○　○○高等学校		要	社：有			
．　．	専任講師（単独授業実施）	非正規雇用		雇：有			
．　．			要・否	社：有・無			
				雇：有・無			
官公庁の職歴（職種、任用形態がわかるように記載）	○○市立病院		否	社：有			○○市長
	看護師	正規職員		雇：無			
	○○市役所		否	社：有			○○市長
	一般行政	臨時的任用		雇：無			
	○○市○○課		否	社：無			○○市長
	事務補助	会計年度任用		雇：無			
．　．			要・否	社：有・無			
．　．				雇：有・無			
民間の職歴（株式会社、法人企業等を記載。非正規雇用の場合は、雇用形態を明確に記載）	○○株式会社		否	社：有			
	経理事務	正社員		雇：有			
	○○株式会社		否	社：有			
	総務事務	派遣社員		雇：有			
	○○商事株式会社		否	社：有			
	総務事務	契約社員（正社員同等）		雇：有			
	○○商会株式会社（コンビニ店員）		否	社：無			
	販売	パート		雇：無			
	○○塾（法人企業又は個人経営）		否	社：有			
	講師	正社員		雇：有			
	ピアノ講師		否	社：無			
	講師	事業主		雇：無			